



広報

No.241

～ 文教のまち西原 ～

# にしはら

町の世帯・人口

(平成4年1月末現在)

|         |         |
|---------|---------|
| 世帯数     | 8,074戸  |
| 人口      | 26,592人 |
| 男       | 13,603人 |
| 女       | 12,989人 |
| 1月の人口移動 |         |
| 出生      | 35件     |
| 死亡      | 14件     |
| 転入      | 96件     |
| 転出      | 65件     |
| 婚姻      | 8件      |
| 離婚      | 2件      |

編集・発行/西原町役場企画課(広報係) 西原町字嘉手苅112番地 ☎098(945)4533 印刷/(協)丸正印刷

## チャリティー公演 第1回民謡部会発表会



とじて保存すると便利です。

### 主な内容

- 二面・三面ごみ問題
- 四面…動く美術館
- 五面…マーチングバンド
- 六面…駅伝大会
- 七面…図書室
- 八面…シリーズ
- 九面…区の紹介
- 十面…お知らせ
- 十二面…女性コーナー

### 民謡ファンが大満足

町文化協会民謡部会(仲宗根盛次部会長)主催、第1回チャリティー発表会が、1月26日午後6時から町中央公民館で開かれました。

町内にある6研究所が、地域の民謡(島唄)の普及・隆盛のために日頃の研究成果を発表。町内各琉舞研究所や箏曲研究所、太鼓研究所らの協力で総勢約150人が出演。

早くから詰めかけた民謡ファン約600人が、手拍子を打ちながら、島唄を満喫していました。

21世紀を創造する人間性豊かな「文教のまち西原」





「ごみ」に分けて収集日が決まっている

# 畳み込み方式の 買物袋など推奨

ごみステーションの導入やモデル地区の設定も

## 町ごみ問題対策会議が答申

町ごみ問題対策会議(吉田朝啓議長)は、ごみの減量化・資源化および将来に向けての施策等、多くの問題について多角的に討議を重ねていたが、このほど結果がまとまり、二月七日午前、町長室で町に対し答申が行われました。

同対策会議は、昨年八月十三日町から諮問を受け、今年一月二十三日にわたって五回の会議を開催。東部清掃施設

組合や県内リサイクル施設などの視察も行い検討。

あいさつの中で吉田議長は「答申の中には、すぐやるべきこと、少し時間がかかるもの、長期的なものがある。一気にやるのではなく、モデル地区を設定することや、ステーションの設置、何よりもごみを大切にする教育も必要です」と述べました。

これに対し平安町長は「立派な答申を頂いた。短期・中期・長期計画や、ユニークな

### 短期計画

一、資源化のための徹底的な分別

一般の家庭ごみについては、①ビニール・プラスチック類②紙類③生ごみ④ガ

発想も入っている。今後、予算に反映させ、他市町村からもモデルになるよう町方式で実施したい」と話しました。なお、答申の内容は次の通り(主要)。

二、分別を徹底させるための方策

①器具器材

(1)ごみ箱及びごみ袋

色分けし町指定のものを義務付ける。

(2)コンポスターの導入

購入経費の一部補助や自家製の堆肥製造装置に



吉田議長から町に対し、答申が行われた



- 関する情報など、広報活動を展開する。
- (3)改良型のごみステーションの導入
- 効率上、美観上、衛生上も適当なごみステーションを開発し、その普及を図る必要がある。
- ②システムと広報
- (1)逆流通経路を検討
- (2)モデル地区の設定
- (3)リーダー(環境保全委員)制の設置
- (4)過剰包装廃止運動
- 「畳み込み方式のチャック付買物袋」などの奨励や「包装を遠慮した顧客に対するサービス追加」など、紙類・ビニール類のごみを減らす方策を進める。



地区ごとに「もやせるごみ」「もやせ

## 燃やしたらダメ!



西原小学校PTAは、毎月1回古紙回収をしている

## 中期的計画

- 一、学校教育へのごみ問題の投影
- 正しくごみ問題を扱うことができるように指導する。
- (1)ごみ問題指導要領の作成
- (2)町内のすべての小・中学校に分別用ごみ箱と袋、ごみステーション、コン

## 長期計画

☆焼却工場・最終処分場の問題

- これまでの数年間、東部清掃施設組合に加入する町村におけるごみ処理の状況を勘案し、常設の委員会を設置構成し、次の諸点について相対的・長期的な対策案を検討する。
- (1)焼却工場への将来の加担運営
- (2)町内から発生する生ごみの有効利用
- (3)その他の可燃ごみ活用に

- 二、「町ごみ対策条例」の制定
- 三、産業廃棄物と事業所ごみへの対処

ポスターなどを配置して実践教育に努める。

(3)児童生徒による、古い教科書類や空缶などの学校への収集・持参については、教育活動の一環として統一的に実施できるように推進する。

- よる熱エネルギー利用計画(温水プール、ハウス園芸など)
- (4)最終処分場の確保等「ごみ処理計画」の策定
- 以上



まだまだ絶えない投げすて(兼久海岸)



空きビンのリターナブル  
もとの業者に返し、何回も再利用することによりサイクルの一つ。





すばらしい作品に多くの人が見入っていた

## ローカル性に豊んだ 開かれた美術館を目ざして

感動する心を大切に！

「動く美術館」第五回西原町展(現代日本洋画壇秀作チャリティー展)が、二月二日から二月十六日までの十五日間、町民体育館で開催されました。

地域づくり推進事業の一環として位置付けた今回の「動く美術館」は、町・町教育委員会・沖縄地区動く美術館親友会が主催。現代日本を代表する一流の画家の美術作品を身近で鑑賞することによって、青少年の情操教育と健全育成

を図り、地方文化の振興に寄与しようというもの。

初日のオープニングは、西原中学校吹奏楽部の演奏で始まり、その後関係者によるテープカットが行われました。開催に先立ちあいさつをした平安町長は「体育館が一変して美術館になった。子ども達が本物の絵に触れて感動し、心身ともに健やかに成長することに大きな意義がある」と述べました。

また、川島博館長は「ローカル性豊かな開かれた美術館を目ざすべきである」と述べ、今回は、ネパール黄金仏像展も同時に開催されることを説明しました。

開催中は、町内外の小・中学校の振替授業をはじめ、多数の町内外の団体や個人が会場を訪れ、美術作品の鑑賞を行いました。

なお、第五回西原町展を記念し、川島館長から海老原昭

## 高齢者保健福祉計画の策定を

### 在宅福祉対策が重要

平成三年度福祉関係団体並びに社協役員合同研修会が、一月二十九日午後三時から、町社会福祉センターで開かれました。

これは、福祉八法の改正や高齢化社会が進む中で、今後の在宅福祉対策を図り、福祉のネットワークづくりを推進するためのもの。

主催者代表あいさつをした宮平吉太郎町協会長は「長

生きしてよかったと思える社会にするには、今後、在宅福祉サービスとボランティアの結びつきが重要です」と述べました。

引き続き、砂川恵良氏(県生活福祉部・長寿社会対策室室長補佐)が「福祉法改正(高齢者保健福祉推進十ヵ年ガイドプラン)等に伴う今後の社協動向について」と題し講演。市町村における在宅福祉



講演が行われると、メモを取る人が多かった

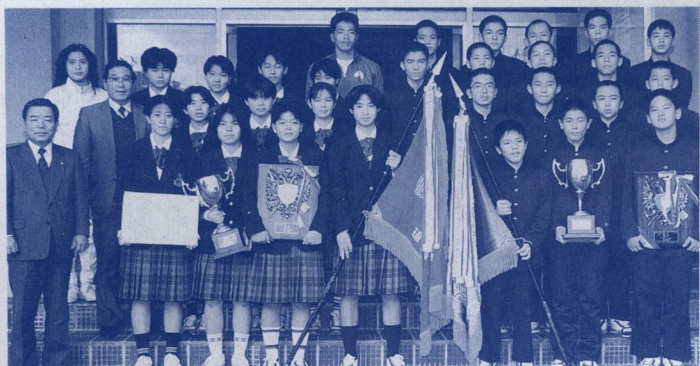
対策の緊急整備や「ねたきり老人ゼロ作戦」の展開など、高齢者保健福祉計画の策定が急務であることを話していました。



テープカットのまよう

治画伯のF150号「拓けゆく西原」が寄贈されました。





## 西原東中が初のアベック優勝

バレーボール第23回琉球放送旗争奪中学新人大会が、1月26日石川市民体育館で開かれ、西原東中が初のアベック優勝に輝きました。

1月27日午後、学校関係者や部員らが町役場を訪れ凱旋報告。4年連続4度目の男子優勝を果たした山田監督は「スーパースターはいないが持ち前の粘り強さとマイペースで勝てた」、女子初優勝の快挙を遂げた平良監督は「決勝は、3セットできびしかったが、日頃の力以上に力を発揮したので勝てました。よくがんばりました」とそれぞれ話していました。

おめでとうございます。



## 7人を山形県へ交流派遣

中部広域市町村圏事務組合主催、児童生徒の最上広域市町村圏事務組合(山形県)への派遣生7人がこのほど決まり、2月5日午後、町長室で出発式が行われました。

青少年の交流事業の一環として、今年度から参加するもので、中部広域圏から小中学生160人が派遣。交流が中心でスキーなども体験する予定。

なお、派遣される児童生徒名は次の通り。(敬称略)

▷仲村早苗(坂小)、吉野里子(西小)、米須香織(西東小)、入田里亮太(琉附小)、宮城優子(西中)、泉川美咲(西東中)、上原聡子(琉附中)



## 都市計画行政の円滑な運営を

任期満了による町都市計画審議会委員の委嘱状交付式が、1月27日午後、役場会議室で行われました。

委員10人に対し、委嘱状が交付された後、あいさつの中で平安町長は「本町の都市計画行政が後手にならず、スムーズに推進できるようご協力をお願いしたい」と述べました。

その後、会長に平敷静男さん(町文化協会会長)、副会長に平良一男さん(財都市緑化植物園園長)が選ばれました。

なお、委員は次の通り。(敬称略)

▷学識経験者・平敷静男、城間期一、米盛徳市(琉球大学教育学部助教授)、平良一男▷町議会議員・比嘉昭幸、儀間信子、親泊輝延、与那城章▷町職員・小川良夫、上間明(任期は2年)



## 西原中が見事優秀賞に

1月19日、東京の武道館で開催された第19回マーチングバンド・バトントワリング全国大会に、九州代表として出場した西原中学校(喜納徳次校長)吹奏楽部が優秀賞を獲得。1月21日午後、関係者や代表部員らが町役場を訪れ、凱旋報告。

60人のメンバーが出場し、見事最高の賞を受賞。指導者の宮良豊吉先生は「日頃の練習の成果を十分に発揮した。これも援助してくれた町のお陰です」と話していました。おめでとうございます。





### 母子保健の相談相手として活躍

字呉屋22番地、呉屋定子さん(56才)が2月6日午後、宜野湾市民会館で行われた第25回沖縄県母子保健大会で表彰されました。

約13年にわたり町母子保健の向上発展に尽力され、母子の健康の保持増進に寄与されたことが認められた。

呉屋さんは「推進員のきっかけは、ある障害児を持つ母親が精神的に参っている時、保健婦から悩みを理解できる者として訪問してほしいと薦められたから」と話していました。



### お母さん見てよ。次だよ！

第14回町立西原保育所(寄川美智子所長)発表会が、2月1日午前、町社会福祉センターで行われにぎわいました。

60人の全園児がリズムや劇、踊り、わらべうたなどに元気いっぱいがんばりました。「お母さん見てよ。次だよ」の声に、孫の激励に駆け付けた祖父母らが目頭を押さえながら見入っていました。

また、1月25日町立坂田保育所の発表会も終わりました。



### 協力して創り上げた学芸会

＝力いっぱい発表し、しっかり聞こう、しっかり見よう＝をテーマに、西原東小学校(中村義盛校長)では、学芸会が2月2日午前、同校体育館で行われました。

我が子の出番を今か今かと待つ父母らが、演技1つひとつに大きな拍手を送っていました。中でも小学校最後の学芸会とあって、6年生全員による劇「さとうきびの花ゆれて」では、コーラス班と演技班に分かれ、感動を与えてくれました。



### 道路照明灯14基を設置

町は、道路照明灯設置工事をすすめていたが、このほど完了、14基が町内の主要箇所を設置されました。

これは、自治総合センターによるコミュニティ助成事業の一環としてコミュニティの健全な発展を図るためのもので、総工費が250万円。

今回の設置により町内の交通安全や防犯、消防、防災など生活の安全確保が図られるものと大いに期待されています。



### 初の駅伝大会で島おこし

嘉手苺青年会主催(後援・同自治会)による初の新春本島縦断駅伝大会が、1月19日行われにぎわいました。

これは、青年や親子の対話、地域仲間の交流を深めることによって、地域づくり、島おこしを図るためのもの。高校生以上のランナー約40人(うち女性2人)が、午前6時15分辺土岬を出発。124kmを交代で走り続け、午後4時15分嘉手苺公民館に到着。到着後、自治会を中心に新年会が盛大に行われました。

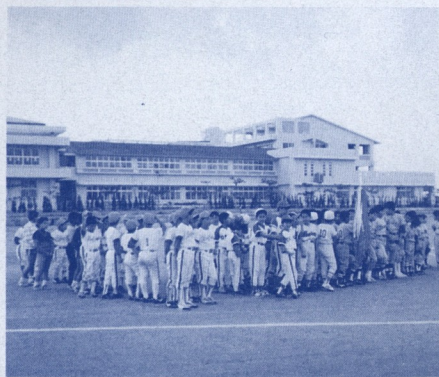


### 和やかな雰囲気交流

大分県山香町婦人団体連絡協議会と町婦人団体との交流会が、2月1日午後、西原共同福祉施設で和やかに行われました。

これは、山香町婦団協が計画した国内研修を本町が受入れたもの。2年前は、町婦連が山香町で研修したため、交流会では「なつかしいですね」の連発。町婦連や町生活改善グループ、町農協婦人部が活動の現状と課題をそれぞれ報告し、意見交換が行われました。





### 西原バッファローズが優勝

町スポーツ少年団（宮里芳男本部長）は、2月9日西原東中学校グラウンドで、少年野球新人大会を開きました。

5年生を中心に12チームが参加。技術も向上し、ファインプレーも続出。応援に来た父母らも満足顔でした。なおAブロック優勝・準優勝チームは、3月1日に行われる中城支部少年野球大会へ参加する予定。▷Aブロック優勝・西原バッファローズ準優勝・小波津ファイターズ。



### 作業の安全を祈願

上原地区街路築造及び宅地造成工事の安全祈願祭が、1月22日午後3時から字上原地内で行われました。

那覇広域都市計画事業上原・棚原土地区画整理事業の一環で、工事費が約5,970万円。工事概要は土工・擁壁工・街路工それぞれ一式。工期は今年3月30日までの予定。

同工事は、文教のまちにふさわしい市街地環境の向上に大いに期待されています。



### おいでよ！広くなった図書室

町中央公民館内にある図書室の改築工事がこのほど終り、約40㎡広くなりました。また、500万円（地域づくり推進事業からの補助金300万円含む）の図書2,000冊が購入される予定。

図書室の利用者は、多い月（8）で1日平均89人、月に約2,300人。司書の喜屋武ひろみさんは「以前に比べて広くなり、明るくなりました。本も選びやすくなったので、子ども達も喜んでいます」と話していました。

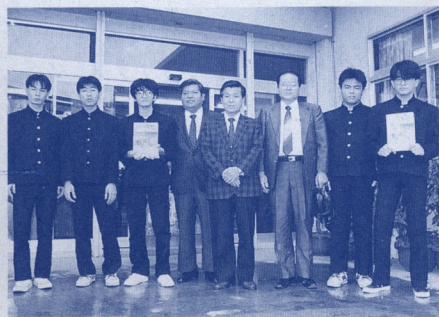


### 大阪から届いたはがきが1等に

昨年に続いて、お年玉付き年賀はがき1等・ハッピー賞に輝いた幸運の人は、寄川恵美子さん（字小波津44番地、県営西原団地1棟303号）39才。同商品は衛星放送受信機能内蔵型テレビ。その贈呈が1月17日午後西原郵便局内で行われました。

今年町内で配られた年賀はがきは34万通。うち45通が寄川家に届けられ、その中から1通が見事当選。

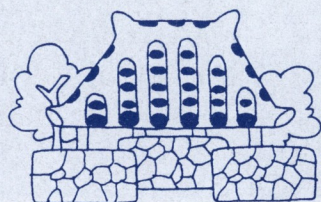
おめでとうございます。



### 運玉義留など絵本を製作

西原町の町史や図書室で文献を調べ、沖縄の民話をもとにした絵本（西原編）を製作したとして、那覇工業高等学校3年生及び同校印刷科上里平三教諭が、2月12日午前、町教育委員会に対し22冊（うち2冊は和紙表紙）を贈呈しました。

印刷科33人が1年がかりで仕上げ企画から製版過程まですべて手作り。同校では「版下」「挿絵」「製版」の段階をカリキュラムの中で7年前から実施。今作品は、県内はもちろん全国工業校長会でも最優秀賞に輝きました。





# 時代にマッチした企業経営を

## 労働者福祉の健全な発展を推進

県商工労働部・西原町・町商工会共催、第37回中小企業労働関係講習会が、一月二十四日後、西原共同福祉施設で開かれました。

これは、経営者が時代にマッチした企業経営を推進し、労働者福祉の健全な発展を図るためのもの。

講習会では、①池間正幸さん(那覇労働基準監督署次長)が「最近の労働基準行政」②野田行雄さん(中小企業退職金共済事業団、業務推進部渉外課長)が「中小企業退職金共済制度のあらまし」③上岡隆則さん(琉球大学教授)が、



企業経営者を中心に約50人が出席した

### シリーズ

#### がんばってます⑩

#### 毎日がボランティア

「アキサミヨ、今ね、動く美術館を見て来たら、拝みするところがあつたサー。観音様ヨ。また、?億円する22金の黄金仏像もあつた。溶かして私の歯にしようかと思つた」と、老人民踊サークルでの始めのあいさつ。約八十人のサークル会員の笑いがどつと。

今回は、子ども会や老人・婦人民踊サークル、その他に

「今日の企業経営者に求められている能力と意識」と題し、それぞれ講演しました。

消費社会の多様化や複雑化、労働時間の短縮や職場における男女平等の推進など、経済活動及び労働環境が著しく変化する中で、中小企業における課題も多い。

出席者約五〇人が、熱心にメモを取っていました。

も手芸、料理、着付けなど社会教育はもちろん、あらゆるものにボランティアで活動している字内間百二十三番地、新川千代子さんを紹介します。

那覇・浦添・西原地区民踊まつりに向けて練習に励むお年寄りに

「これは『お母さん』という踊りだけど、ウンジュナーチームノー『おばあさん』踊りになっているよ。ハイ、もっとかわいく笑いながら」と。

西原町でボランティア活動して十二年になる。それ以前的那覇市での活動も含めると三十年。現在は具志頭や南風原、黒潮会館(遺族会対象)

「これは『お母さん』という踊りだけど、ウンジュナーチームノー『おばあさん』踊りになっているよ。ハイ、もっとかわいく笑いながら」と。

西原町でボランティア活動して十二年になる。それ以前的那覇市での活動も含めると三十年。現在は具志頭や南風原、黒潮会館(遺族会対象)



毎週木曜日が楽しみだという老人民踊サークルのみなさん(円内が新川千代子さん)



# 区の紹介コーナー

組踊りの復活に意欲的

## 小波津区

小波津区は、人口八百四十一人で二百三十二世帯(一月末現在)の部落です。

棒術や獅子舞、綱引きなど伝統行事が多く、青年を中心に区民は協力的です。

今年、諸活動の拠点である小波津集落センターが創立十周年を迎える。その記念事業として、伝統芸能の組踊り復活に取り組むという事務担任



者の大城好弘さんは「町に対し、道路や下水道の整備を要請。今後は、部落有地の有効利用も考える必要がある」と話していました。

## 注目されるコミュニティ事業

### 小波津団地区



小波津団地区は、人口一千三十二人で二百七十一世帯(一月末現在)の自治会です。

各地から集まった寄合いの新興住宅で、自治会全体が地域づくりに燃えています。特

に、昨年自治省からコミュニティ活性化地区指定を受け、花いっぱい運動を展開。町内外から注目されています。

北広場周辺の崖崩れの危険性を訴える事務担任者の山里景美さんは「仲本紀男自治会長を中心に、今後とも青少年の健全育成や芸能の復活など、コミュニティ事業を推進したい」と話していました。

## 活発になった子ども会

### 県営西原団地区

県営西原団地区は、人口六百三十一人で百五十二世帯(一月末現在)の自治会です。

県内各地から転入した住民で構成される当区は、盆踊りやクリスマスパーティーなど各種の行事も増え、自治会活動が活気に満ちています。

特に、子ども会(ひまわり子ども会)がまつり太鼓を中心に盛り上げてきたと語る事



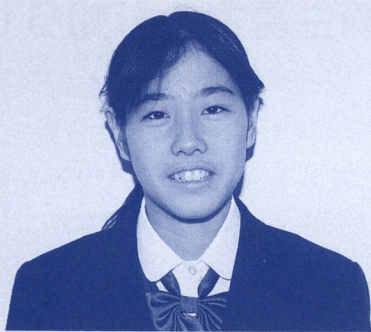
務担任者の向山ミサ子さんは「当初の遊具設備などは県が設置しているので、修繕費は町が出してほしい。今後とも砂川哲夫自治会長と一緒にが

んばりたい」と話しました。

今回で区の紹介コーナーを終了させていただきます。十か月で三十区を紹介しましたが、紙面の都合上、細かい説明が出来なかったことをご了承下さい。今回は広報・広聴の立場から掲載。幸地区のようすでに路線バス運行が実施されている区もあり、単なる区の陳情・要請に終ることなく区の再点検と改善につながれば幸いに思います。

ご協力いただいた皆さん、ありがとうございます。

こんにちは  
ひとこと ⑤



### 西原東中学校二年

#### 平良祥子さん

西原東中学校生徒会副会長の平良祥子さんが「東中の良い点は、スポーツが活発であることと、最近、学習意欲が出たこと。直してほしい点は、服装がきちんとしてない人や落書きが多いところです」と笑顔で話していました。

小柄ながらも内にパワーを秘めた人。そんな祥子さんが好きな言葉は「継続は力なり」。



平成 4 年度 国民健康保険者証（手帳）のきりかえについて

あなたが、現在持っている国民健康保険手帳は、3月31日までしか使用できません。4月からは、新しい保険手帳でしか受診できませんので、次のとおり新しい保険手帳に切り替え致します。

記

場 所：西原町役場 国民健康保険課窓口（5 番）

時 間：午前 9 時から午後 4 時まで

持参するもの

- 1. 現在使っている国民健康保険手帳
- 2. 印鑑

注意事項

- 1. 保険税未納の方は、あわせて納めて下さい。  
（平成 3 年度分まで）
- 2. 平成 4 年度の所得申告をしていない方は、  
税務課で申告をしてから保険手帳の切り替  
えをして下さい。
- 3. 国民健康保険と職場の健康保険両方に加入  
している方がおりましたら職場の保険手帳  
も持ってきて下さい。
- 4. （学）の手帳を持っている世帯は在学証明書  
または在園証明書を持参して下さい。

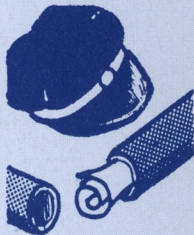
【切り替え日程】

|          |                            |
|----------|----------------------------|
| 3月11日(水) | 幸地、幸地ハイツ、幸地高層住宅、<br>棚原     |
| 3月12日(木) | 徳佐田、森川、千原、上原、坂田            |
| 3月13日(金) | 翁長、呉屋、津花波、西原台団地、<br>小橋川、内間 |
| 3月16日(月) | 内間団地、掛保久、嘉手苅、小那覇           |
| 3月17日(火) | 平園、兼久、与那城                  |
| 3月18日(水) | 美咲、我謝                      |
| 3月19日(木) | 西原ハイツ、安室、桃原、池田             |
| 3月23日(月) | 小波津、小波津団地、西原団地             |

西原町役場 国民健康保険課 ☎945-4729

※ 国民健康保険税の納付相談も行ないますのでお気軽に相談して下さい。

お知らせ  
でーびる



案内・募集

人権相談所開設

- 1.と き 平成 4 年 3 月 10 日(火)  
午前 10 時～午後 3 時 30 分
- 2.ところ 西原町役場 2 階会議室



親子・夫婦・扶養・相続・  
借地・借家・登記・名誉・  
信用・差別・私的制裁・公害・  
いじめなどの人権問題の相談  
に応じています。

第 8 回西原町 P T A  
研究大会

- 内容 学校週 5 日制について  
シンポジウム
- 主催 西原町 P T A 連絡協議  
会
- 期日 平成 4 年 3 月 7 日(土)  
午後 2 時
- 場所 西原町中央公民館大ホ  
ール
- 対象 幼小中 P T A の会員、  
P T A 活動に関心のあ  
る方

職業訓練生募集のお知らせ

北谷町にあります雇用促進事業団沖縄技能開発セ  
ンターでは、能力再開発訓練 4 月入所生を募集いた  
します。応募資格は、公共職業安定所で求職活動さ  
れている方(雇用保険受給者及び一般求職者)。

| 科 名       | 募 集 時 期      | 定員   | 訓 練 期 間               |
|-----------|--------------|------|-----------------------|
| 金属成形加工科   | 平成 4 年 2 月下旬 | 25 名 | 平成 4 年 4 月            |
| 車両メンテナンス科 |              | 25 名 |                       |
| 建装サービス科   |              | 25 名 |                       |
| 電気制御 科    | 3 月中旬        | 25 名 | 平成 5 年 3 月<br>( 1 ケ年) |
| O A 処理 科  |              | 25 名 |                       |
| O A 経理 科  |              | 25 名 |                       |

※詳細については、沖縄技能開発センター（TEL  
098-936-1755）開発援助課へお問い合わせ下さい。



長編記録映画

# しかばねが吹いてくる風



滋賀県信楽町、ここは狸の焼物で知られる窯業の里。  
知恵おくれと呼ばれる人たちが、  
おおらかに働き、生きられる町  
やわらかな人間の風が吹く町

滋賀県信楽町、ここは狸の焼物で知られる窯業の里。

主 催：町心身障害児(者)を育てる会・町社会福祉協議会  
と き：3月8日(日)午後3時・午後6時(2回上映)  
ところ：西原町中央公民館ホール  
料 金：大人 300円、小人 200円  
連絡先 945-6205

## 年金資金を活用して

あんしんマイホーム

## 被保険者住宅資金

年金積立金の一部を年金加入者等に対する福祉還元を目的に運用することによって、年金加入者はもとよりその家族の方々の福祉向上に役立つように貸付けしているのが、住宅資金貸付制度です。

### ● 貸付金額

| 保険料納付済額     | 金 額   |
|-------------|-------|
| 3年以上 5年未満   | 220万円 |
| 5年以上 10年未満  | 250万円 |
| 10年以上 15年未満 | 300万円 |
| 15年以上       | 370万円 |

### ● 貸付金利率

★ 年利 5.71パーセント

### ● 申込み方法

★ 開発金融公庫及び同公庫取扱い金融機関へお申込みください。

▽字津花波四十番地、呉屋吉子さんが、八十五才の生年祝を記念して、社会福祉事業に役立てて下さいと町社協へ二十万円、町老人クラブ連合会へ五万円。  
▽字翁長九十番地、豊平オートさんが、町老人クラブ連合会へ一万円。  
▽字我謝七百五十八番地、宮平ヨシさんが、八十五才の生年祝を記念して町人材育成会へ十万円。  
▽字我謝四百四十四番地、新垣好範さんが、故祖父蒲戸さんの香典返しとして、町人材

## 寄付・香典返し

育成会へ十万円、町社協へ十万円。  
▽字我謝六百五十五番地、喜屋武清さんが、故妻暁子さんの香典返しとして、町社協へ十万円。  
▽在アルゼンチン呉屋盛尚さん、小川良喜さん、大城善吉さんが、町人材育成会へそれぞれ二万円。  
▽在アルゼンチン小波津薫さんが、町人材育成会へ一万円  
▽町文化協会洋楽部会(平良かずえ会長)がチャリティークリスマスコンサート収益金を福祉事業に役立てて下さいと町社協へ三万円。

## お済みですか？

### 「確定申告」!!

所得税の申告と納税は  
3月16日まで

◎詳しくは、北那覇税務署  
(☎877-1324)又は税務相談室(☎867-6815)にお尋ね下さい。



## スポーツ安全保険に

### 加入しましょう!

平成4年度のスポーツ安全保険加入受付が始まりました。

この保険はスポーツ活動、文化活動、奉仕活動などの際の傷害事故や、第三者に与えたえた損害を補償して、グループの人達が安心して活動できるようにするために文部省によりつくられた、営利を目的としない互助共済的な保険です。

この保険は5人以上のグループで加入できます。万一の事故に備えてぜひこの保険に加入しましょう。

申し込みと問い合わせは、スポーツ安全協会 沖縄県支部まで (TEL 857-0017)

わたしたちは、緑を豊かにし、美しいまちをつくりましょう。(町民憲章)



## 3月(MAR) 行事・祭事予定

- 1日(日) ○乳児一般健診 9時、13時、 町中央公民館
- 4日(水) ○心配ごと相談 14:00 社会福祉センター
- 6日(金) ○町社協食事サービス 10:00 老人ホーム守礼の里  
○三歳児健診 13:30 社会福祉センター
- 7日(土) ○ビデオ会 14:00 児童館  
○第8回町PTA研究大会 14:00 町中央公民館
- 11日(水) ○心配ごと相談 14:00 社会福祉センター  
○挑戦大会 15:00 児童館
- 13日(金) ○町社協食事サービス 10:00 町中央公民館
- 14日(土) ○町役場閉庁  
○ビデオ会 14:00 児童館
- 18日(水) ○心配ごと相談 14:00 社会福祉センター  
○離乳食実習 13:30 町中央公民館
- 19日(木) ○1歳半健診 13:30 町中央公民館
- 21日(土) ○DPT 13:00 町中央公民館  
○町立中学校卒業式
- 22日(日) ○母子・父子家庭児童入学激励会 11:00 社会福祉センター
- 23日(月) ○町立小学校卒業式
- 25日(水) ○心配ごと相談 14:00 社会福祉センター
- 26日(木) ○中部地区児童館親善交流会 10時 町民体育館
- 27日(金) ○町社協食事サービス 10:00 町中央公民館
- 28日(土) ○町役場閉庁
- 29日(日) ○朝市 9:00 町役場前駐車場
- 31日(火) ○映画会 14:00 児童館

### 女性コーナー 連載10

## 女性と健康

いたわりあえば幸せな気分!

企画課 安里 英子

私たちは特に病気でなくて

も、肩がこって頭が重いと、腰痛がひどい、と感じている人は多いと思います。とりわけ女性の場合、「月の満ち欠け」の周期を身体の内にもっているのです、とてもデリケートで、ちょっとしたリズムが狂うと、精神的にもイライラしてしま

うことがあるものです。

そんなとき、身近にいる人から、やさしい言葉をかけてもらったり「ちよつとやってみましょうね」と、指圧などをしてもらうと、ほんとうにうれしいものです。それぞれが自分の身体をよく知り、そして健康法をひとつでも身につ

けていれば、相手が身体の苦痛や、不快感を訴えたとき、少しでもそれを和らげてあげることができるようではないでしょうか。特に「女同志」だと遠慮はいりませんし、友同志、お隣り同志で十分にスキンシップをして、いたわりあうことは大事なことのようになっています。

また、女性の場合、少しでも健康管理の技術や知識をもっていれば、子供が少々熱を出してもあわてないですみます。

今後は老人問題がクローズアップされてきますが介護の方法を身につけていけば、せめてもの親孝行ができるのではないのでしょうか。看護や介護は何よりも愛情が第一ということは言うまでもありませんが、今、策定中の女性行動計画では、薬草教室や心と身体健康のための講座や健康相談などを具体的にやっけていきたいと思います。

### 基準薬局



薬を扱っている店は、薬局のほかに薬店やドラッグストアなどがありますが、医師の処方せんに基づいて調剤できるところとして法律で認められているのは、薬局だけです。地域住民が、薬のことを安心して任せることができるよう、日本薬剤師会では平成二年度から、「基準薬局」制度をつくりました。基準薬局は、薬局薬店で買った薬や処方せんでもらった薬について、消費者の相談にのったり、薬の正しい選び方や使い方を教えてくれたりします。

そのために、患者の体質やいつも使っている薬などを薬歴カードに記録し、保存するように努めています。また、基準薬局では、薬剤師が処方せんを責任をもって受け付け、すぐに調剤ができないときは、後で患者に届けるなどのサービスをするようになっていきます。

基準薬局の認定を受けた薬局は、白地に青十字の標識や看板を掲げており、その数は、平成三年九月末現在で九千二百五十軒となっています。